

げい じゅつ か く さ ま や よ い 芸術家 草間 彌生

くさまやよい
草間彌生は、

やまな
山並みがうつくしい

ながのけんまつもとし
長野県松本市に、

はな き たね なえ
花や木の種や苗をあつかう

おお とんや すえむすめ
大きな問屋さんの末娘として

う
生まれました。

ちい
小さいころから、

はな いぬ
花や犬が、

ひと ことば はな
人の言葉で話しかけてきたり、

はいいろ
灰色のカーテンにかこまれる

まぼろしにくる
まぼろしに苦しみます。

きょうふ
そうしたおどろきや恐怖を

まいにち え ところ
毎日絵にかいて心をしずめていました。



せんそう
戦争がおわって、^{え がっこう い}絵の学校に行き、
^えますますいろいろな絵を
かくようになりました。



^{やま}山のむこうには
どんな^{せかい}世界がひろがっているのだろうか。

^{みち}未知の世界へのあこがれと、
もっとかぎりなく^{じゆう こうだい}自由に広大な世界で
^{じぶん げいじゆつ}自分の芸術をつくりたいという^{おも}思い。

そのころはまだ、

^{じゆう がいこく い}自由に外国へ行ける時代ではありませんでした、
^{おお きぼう むね}大きな希望を胸に、^{たびだ}アメリカへ旅立ちます。

ニューヨークで部屋を借りて、
くる日もくる日も絵をかきました。

10メートルもある

大きな真っ黒いキャンバスに
貝がらのように小さな白い丸が
いちめんに連なったあみの絵を
かいて発表しました。

中心もはじまりもおわりもない
白いあみの絵に、

ニューヨークの人々はびっくりぎょうてん。
だれの絵ともちがう絵は、評判になりました。

やわらかい彫刻や

無限の鏡の部屋、

はだかのパフォーマンスなど、

つぎつぎと新しい芸術を作りました。



ねん え ちょうこく
あれからもう 60 年。絵や彫刻だけでなく、

し しょうせつ えいが あたら ちょうせん
詩や小説、映画にファッション、新しいものにいつも挑戦しています。



まいにち けいじゅつ かんが あさ ばん つく つづ
毎日、芸術のことだけを考えて、朝から晩まで作り続けています。

つく さくひん せかいじゅう
これまで作った作品は世界中で
ひと み
たくさんの人に見てもらいました。

いま
そして今、

さくひん み
いつでも作品が見られるように
くさまやよいびじゅつかん つく
草間彌生美術館を作りました。



み きて
見に来てくれてありがとう。